

1年の折り返し地点を通過し、今日は七夕を迎えました。五色の短冊に願いを込めて飾っておられるご家庭も多いことかと思えます。夏の訪れを感じる七夕の夜に、夜空を見上げながら星に祈りを捧げてみるのもいいですね。



大好きな時間 (昨年も書いたのですが、今年はさらに power up! しています)

校長室、校長室前廊下・階段、会議室の掃除には、3年1組と4組から毎日13名の生徒が来てくれます。彼らとたくさん話をしたいのですが、無言掃除となっているため、なかなか話すわけにもいかず... しかし、話さずとも、ほうきで掃く姿や、丁寧に床や階段、テーブル等を拭く姿から、彼らの心の中が見えるようです。言葉で伝えなくても大丈夫。テーブルを動かしていると、邪魔になる椅子をそっと動かしてくれる人。相手に関心を持っている、人を大切にしている証拠です。ピカピカの心と同じで、階段や廊下・床が、茶色くしっとりと輝いてきました。掃除終わりの挨拶のとき、生徒に『いつもありがとう』と、毎日心の中でつぶやいています。

3年前に、私たちの研修を担当してくださった先生が、今2年ぶりに下城南へ来てくださっています。「校長先生、掃除の時間プラプラと校内を歩き回るので、あの時よりもさらに power up していますね。特に学年が上がるにつれて掃除に取り組む凄さが増しています！」その先生の言葉です。

何事においても、「一生懸命」に取り組む時、知らないうちに凄い力がついているのでしょう。

今一番踏ん張り時なのは 7/1 熊日新聞【若者コーナー】より抜粋

今は新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、さまざまな制限があり、思うように生活ができません。特に今年は受験生なので勉強が心配です。授業など、皆で勉強できる時間が減り、普通の学校生活もうまくいかないことが多くなりました。しかし、私は今が一番踏ん張り時なのではないかと思えます。みんな同じ状況なので「自分1人くらい…」と思わずに、今この状況だからこそできることを精いっぱいやろうと思えます。当たり前だと思っていた生活は、本当は当たり前ではなく、とても素晴らしいことだということもわかりました。これから訪れる当たり前の日々をもっと大切に過ごしていきたいと思えます。《中学3年(苓北町)》

下城南の3年生も朝自習や授業に真剣に向き合っています。そして9月に実施する体育大会に向けて本格的に始動しました。今年の体育大会は、さまざまな制限がある中での実施となります。できないことを嘆くのではなく、今できることに感謝の気持ちをもって1・2年生と一緒に精一杯の頑張りを見せてくれることと思えます。

本日、体育大会のお知らせについてのプリントを配布しています。保護者の皆さまには、いろんなご意見があるかと思いますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ちょっといい話

「先生、向こうでケンカがおこっています、止めてください！」たまたま事務室前の玄関にいた私に、大きく手を振りながら二年生の男子が走って近づいてきました。急いでその場所まで行ってケンカをしている生徒に話を聞いてみると、その二年生は安心した顔つきで「失礼します」と言って帰っていききました。その生徒のおかげで、大きな怪我をすることもなくケンカも収まったのですが、他の人のことを心配し、気遣うその気持ちが何より嬉しかったです。

と、その時、フツと一年前のことが思い出されました。暑い朝のことです。生徒の登校を数名の先生方と迎えていると、当時三年生の男子が、「先生、テニスコートの上の道で一年生の自転車が動かないでいます！」汗ビッシュヨリになって正門の坂を駆け上がってきました。急いでその場所まで行くと、荷紐がほどけ、車輪に巻き付いていました。何とかほどこいてすぐ動くようになったのですが、この時も、汗まみれで走って教えに来てくれました。

一人ひとりが相手に関心を持ち、支え合うこうした行動が、あったかい環境をつくっていくのだと思います。